



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 名糖産業株式会社
 コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangyo.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 寛志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 山崎 潔

TEL 052 521 7111

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,923	2.1	250		198	48.2	177	39.2
2019年3月期第1四半期	5,027	1.2	56	44.0	382	5.9	291	6.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,360百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 1,828百万円 (4.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	10.49	
2019年3月期第1四半期	17.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	68,207	41,264	60.5
2019年3月期	72,107	43,962	61.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 41,264百万円 2019年3月期 43,962百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				20.00	20.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,100	1.8	420		300	56.7	690	23.2	40.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	17,265,000 株	2019年3月期	17,265,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	370,026 株	2019年3月期	369,830 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	16,895,071 株	2019年3月期1Q	16,895,851 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速による外需の低迷で輸出環境が悪化して、企業経営への影響が出始めました。また、消費者の根強い生活防衛意識により個人消費に勢いが不在なかで、米中の貿易摩擦も長期化して、景気の後退が懸念されるようになりました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、消費マインドの冷え込みにより内需に陰りが見えるなかで、市場獲得競争が激化して販売促進費などの負担も重く、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、昨年9月に稼働させた愛知県瀬戸市の新チョコレート工場への第2期移転工事を進めるなかで、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、高付加価値商品の提供ならびに精力的な営業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて2.1%減の4,923百万円となりました。営業損益につきましては、新工場の稼働による減価償却費の増加などにより、250百万円の営業損失となりました。前年同期は56百万円の営業利益でありました。また、経常利益は、投資有価証券売却益などを計上しましたが、営業利益の減少により、前年同期と比べて48.2%減の198百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期と比べて39.2%減の177百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、消費者の節約志向が続くなか、主力の菓子部門は苦戦を強いられ減収となりました。チョコレート類は、ポケットサイズの商品や受託商品などが売上を落として減収となりました。キャンディ類は、受託商品の売上が伸びましたが、自社商品の売上が落ち込み減収となりました。

粉末飲料部門は、分包アソートタイプの「スティックメイト」シリーズやココア類などの売上が伸長して増収となりました。

主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、受託商品の売上が堅調に推移して増収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、主力のパウムクーヘン類やゼリー類が苦戦して減収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ0.7%減の4,397百万円となりました。営業損益につきましては、減価償却費の増加などにより82百万円の営業損失となりました。なお、前年同期は187百万円の営業利益でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては、脂肪分解酵素「リパーゼ」の売上は前年同期と同水準で推移しましたが、チーズ用凝乳酵素「レンネット」が苦戦して減収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」の売上が落ち込み減収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ13.7%減の450百万円となりました。営業損益につきましては、売上高の減少や売上原価率の上昇などにより37百万円の営業損失となりました。なお、前年同期は10百万円の営業利益でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、売上高は前年同期に比べ1.2%増の75百万円となり、営業利益は前年同期に比べ4.5%増の31百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ412百万円減少し、11,005百万円となりました。これは、現金及び預金が1,340百万円増加したことや、受取手形及び売掛金が1,102百万円減少したこと、その他に含まれる未収消費税等が916百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3,486百万円減少し、57,202百万円となりました。これは、保有する株式の株価の下落や売却などにより投資有価証券が3,653百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ3,899百万円減少し、68,207百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、6,127百万円となりました。これは、その他に含まれる未払金が590百万円増加したことや、未払費用が510百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,279百万円減少し、20,816百万円となりました。これは、保有する株式の株価の下落などにより繰延税金負債が1,071百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,200百万円減少し、26,943百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,698百万円減少し、41,264百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が2,531百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、概ね当初の想定した範囲内で推移しております。現時点では通期の連結業績予想につきまして、2019年5月14日に公表いたしました数値を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,594	3,934
受取手形及び売掛金	5,003	3,901
有価証券	0	0
商品及び製品	1,155	1,315
仕掛品	471	461
原材料及び貯蔵品	1,140	1,209
その他	1,068	209
貸倒引当金	△17	△27
流動資産合計	11,417	11,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,267	10,165
機械装置及び運搬具（純額）	7,991	7,834
その他（純額）	6,111	6,525
有形固定資産合計	24,370	24,525
無形固定資産	130	128
投資その他の資産		
投資有価証券	36,069	32,416
その他	148	160
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	36,188	32,547
固定資産合計	60,689	57,202
資産合計	72,107	68,207

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,309	2,107
1年内返済予定の長期借入金	832	834
未払法人税等	26	16
返品調整引当金	4	3
固定資産撤去費用引当金	210	210
その他	2,664	2,954
流動負債合計	6,047	6,127
固定負債		
長期借入金	12,834	12,625
繰延税金負債	5,918	4,846
役員退職慰労引当金	10	10
退職給付に係る負債	2,966	2,984
その他	366	349
固定負債合計	22,096	20,816
負債合計	28,144	26,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	26,569	26,408
自己株式	△706	△707
株主資本合計	27,252	27,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,683	14,152
退職給付に係る調整累計額	27	20
その他の包括利益累計額合計	16,710	14,172
純資産合計	43,962	41,264
負債純資産合計	72,107	68,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,027	4,923
売上原価	3,270	3,470
売上総利益	1,756	1,452
販売費及び一般管理費		
販売促進費	672	692
給料手当及び賞与	370	359
退職給付費用	24	18
役員退職慰労引当金繰入額	0	0
貸倒引当金繰入額	4	9
減価償却費	24	29
その他	602	592
販売費及び一般管理費合計	1,700	1,703
営業利益又は営業損失(△)	56	△250
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	340	347
投資有価証券売却益	-	107
持分法による投資利益	1	16
その他	10	11
営業外収益合計	355	485
営業外費用		
支払利息	7	12
固定資産除売却損	19	9
支払手数料	2	0
為替差損	-	10
その他	0	3
営業外費用合計	28	36
経常利益	382	198
税金等調整前四半期純利益	382	198
法人税、住民税及び事業税	10	4
法人税等調整額	80	16
法人税等合計	91	21
四半期純利益	291	177
親会社株主に帰属する四半期純利益	291	177

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	291	177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,536	△2,531
退職給付に係る調整額	0	△6
その他の包括利益合計	1,536	△2,537
四半期包括利益	1,828	△2,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,828	△2,360

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,430	522	74	5,027	—	5,027
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,430	522	74	5,027	—	5,027
セグメント利益	187	10	29	228	△172	56

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,397	450	75	4,923	—	4,923
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,397	450	75	4,923	—	4,923
セグメント利益又は損失(△)	△82	△37	31	△89	△161	△250

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。